

専門課程シラバス

| | | | | | | | |
|----------|--|-------|-------|-----|------------|-----|----|
| 授業科目 | 小児看護学Ⅰ 小児看護技術 | | | 担当者 | 山本真衣子・金子綾子 | | |
| 開講時期 | 2年前期 | 授業の方法 | 講義・演習 | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |
| 授業概要 | <p>子どもは発達していく存在であり、年齢や、健康レベルにかかわらず、権利を有し、行使することができる主体であると捉える。そして子どもを育む家族も看護の対象として位置づけ、家族に対して看護を提供するとともに、看護者と家族と一緒に子どもの発達を支援し、子どもにとっての最善のケアを提供することができるように家族とともに取り組むことが重要であるといえる。小児看護学概論の内容をふまえ、健康障害や入院が子どもや家族に及ぼす影響と看護、急性期、慢性期、終末期、それぞれの状況にある子どもと家族への看護、子どものアセスメント、虐待と看護について学ぶ。そしてそれらの学習内容が看護の実践にどのように活用できるのかを学ぶ。</p> | | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 病気・障害が子どもと家族に与える影響 2. 入院中の子ども、外来受診の子ども、在宅療養中の子どもとその家族の看護 3. 災害時の子どもとその家族の看護 4. 子どもにおける疾病の経過と看護 5. 子どものアセスメント 6. アセスメントに必要な技術 7. 8. 身体的アセスメント 9. 子どもの虐待と看護 10. 終講試験 | | | | | | |
| テキスト参考文献 | <p>ナーシンググラフィカ小児看護学①小児の発達と看護、メディカ出版、2019 ナーシンググラフィカ小児看護学②小児看護技術、メディカ出版、2019 新体系看護学全書小児看護学①小児看護学概論小児保健、メジカルフレンド社、2013 小児看護学小児と家族への系統的アプローチ第2版、医歯薬出版株式会社、2010</p> | | | | | | |
| 成績評価の方法 | <p>筆記試験(80%)、授業態度、演習(20%)によって評価する。</p> | | | | | | |